

トピックス

同志社ローム記念館事務室移転のお知らせ

2013年度の文系学部今出川移転に伴うキャンパス整備により、同志社ローム記念館事務室は、2012年8月20日(月)より、下図のとおり同フロア内別室へ移転します。

また、同時に京田辺校地総務課、京田辺地域連携推進室、広報課(記者室)は、副業館へ移転します。その他のキャンパス内事務室の移転については、同志社大学のWebサイトなどでご確認ください。



※京田辺校地総務課・京田辺地域連携推進室、広報課(記者室)は副業館に移転

2012年度プロジェクト報告会のご案内

中間報告会…………… 2012年9月29日(土)
最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会

…………… 2013年3月9日(土)

詳細は、同志社ローム記念館Webサイトにて随時ご案内します。

2013年度プロジェクト募集について

2013年度に活動するプロジェクトの募集要領は、決定次第Webサイトにてご案内します。

ご興味をお持ちの方は、同志社ローム記念館事務室までお気軽にお問い合わせください。

編集後記

今号の記事にもあるように、OP総会が開催された。OPにとっては現役の時にはなかった全く新しいプロジェクトが活発に活動していたり、コアプロジェクトのあり方が変化していたりと、その変化に驚きや面白さを感じるとともに、ローム記念館プロジェクトが変わらずに活発に活動していることを知ることで、学生時代の熱い気持ちを呼び覚ましてもらえたのではないだろうか。

一方、現役のプロジェクトメンバーは、社会に出て一回りも二回りも大きく成長したOPに憧れを抱くとともに、自分自身の近い将来の姿をOPに重ね合わせることで期待と不安を感じることができたのではないだろうか。また、自分たちが参加しているプロジェクトが、過去のプロジェクト活動を知ることにより時間という流れの中で再認識できること、さらにプロジェクト活動における悩みや不安をOPも現役の時に同じように感じていたこと、それをいかに克服してきたかを経験者の口から直接聞けることが重要だ。このような刺激が両者にとってプラスに動くことは明らかで、今後も、OPの協力の下、現役とOPとのパイプをより太くし、お互いが刺激し合い、これまで以上に有意義なプロジェクト活動を行ってもらえればと切に願っている。

(同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会委員長 大久保雅史)

プロジェクト・サポート募金のお願い

学校法人同志社 総長 大谷 賢
理事長 八田 英二

学校法人同志社は、同志社大学ならびに同志社女子大学を中心とした法人内各学校が一致協力して同志社ローム記念館でのプロジェクト主義に基づく新しい教育・人材育成を積極的に進めています。また、これまでも現代GP申請による補助金獲得など学外資金を積極的にとりいれるべく努力をしております。この同志社独自の新しい教育・人材育成事業を発展的に展開させるために、教職員をはじめ広く社会、市民のみならず皆様からご支援をお願いすることとし、プロジェクト・サポート募金を実施しております。皆様方におかれまして是非ともご賛同いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。募金のパンフレットおよび詳細につきましては、大学京田辺校地総務課(ローム記念館事務室)にお問い合わせください。募金は、大学資金課、女子大学経理課、各校事務室でも受け付けます。

同志社ローム記念館
プロジェクト・レポート

DIR

[ディー・アール]



連なるプロジェクトイズム

2012年度プロジェクト紹介

ウェイクアッププログラム

2011年度 最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会

OP(Old Project-Member)訪問 —— 「OP総会」・「大人のippo」

イベント報告(2012年1月~6月)

DIR Information

特集 連なるプロジェクト

同志社ローム記念館プロジェクトは、今期で9期目。12チームが活動をスタートさせた。前年度までのプロジェクトをベースにした再エントリーが多かった2011年度とは違い、ローム記念館での活動経験がないメンバーがほとんど、というフレッシュなチームが半数近くを占めている。

その年のメンバーによってプロジェクトの雰囲気は大きく変わるもの。しかし、目標達成に向かって悩み苦しみがらがんばるメンバーの姿も、報告会ごとにプレゼンテーションが進化するようすも、ある意味では、毎年変わらない光景だ。

春には、卒業していったOP (Old Project-member) たちと現役のメンバーとが一堂に会する「OP総会」も開催されるなど、10周年を前に、縦のつながりを持つとする活動が動き出した。テーマは違っても、年度が違っても、同じ1年間でどう勝負するかは同じ。メンバーたちは、どこかで去年までのプロジェクトも意識しながら、自分たちらしい「プロジェクト」を模索しているのだろう。

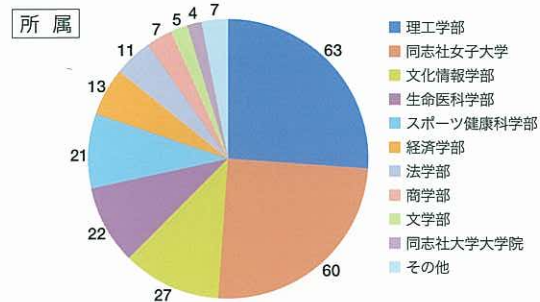
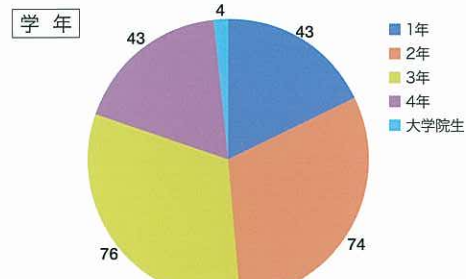
1年単位で展開されるプロジェクトではあるが、しっかりと「同志社ローム記念館プロジェクトイズム」が育ってきているようだ。

2012年度 同志社ローム記念館 プロジェクト

今期のプロジェクトには12件のエントリーがあり、選考の結果、誘致プロジェクト3件、公募プロジェクト7件が採択された。テーマはそれぞれ違うが、別チームの発表から得るものもある。選考過程も学びの一環となるよう、はじめて「公開プレゼンテーション」が採り入れられ、ライバル同士がお互いの発表に耳を傾けた。



2012年度 プロジェクトメンバー



誘致プロジェクト

企業や団体などからの提案をうけ、社会人と学生が一緒になって取り組むプロジェクト。活動を通して学生たちが社会活動を経験することと、活動の成果による新しい価値の創造を目指す。

同志社エコプロジェクト ~ E-pho ~

(RM210)

【参加企業・団体】同志社大学

【プロジェクト責任者】

太田哲男 (同志社大学環境保全・実験実習支援センター長・同志社大学生命医科学部教授)

【目標】「写真」を切り口に、学生の立場から環境に関するWebサイトの制作、運営を行い、ユーザの環境に対する意識、行動変容を促す。視聴者の環境に対する意識の向上と問題解決に向けた行動を促す映像を制作し、Web等を活用して公開する。

【主な活動】

- ・ Webサイトの制作、運営
- ・ 関連イベントの企画・運営



病院検索おたすけツール開発プロジェクト

(RM218)

【参加企業・団体】株式会社ティエムエス

【プロジェクト責任者】

廣安知之 (同志社大学生命医科学部教授)

【目標】厚生労働省などで公開されている医療機関のデータを見やすい形で公開し、医療機関の選択を手助けするWebサイトを作成する。

【主な活動】

- ・ 医療機関データのデータベース整理
- ・ Webサイト制作
- ・ Web利用者増加のための広報活動



「遊び場マップ」をつくろう!!

(RM219)

【参加企業・団体】京田辺市 保健福祉部 とも福祉課

【プロジェクト責任者】

笠間浩幸 (同志社女子大学現代社会学部教授)

【目標】子どもと親をつなぐコミュニケーションツールとして子育て世代に役立つ京田辺市内の遊び場マップを制作する。

【主な活動】

- ・ インタビュー、現地取材
- ・ マップ制作
- ・ Webサイト活用



参加学生からのメッセージ



「遊び場マップ」をつくろう!!

澤崎真奈
同志社女子大学 現代社会学部2年

私はこのプロジェクトで、京田辺市役所と連携し学生ならではのアイデアを取り入れながら、少しでも地域貢献ができるように、市民のニーズに応えた遊び場マップを製作しようと考えています。

またSCoP会議やミーティング、市民への取材などを通して、自らの意思や思いをうまく伝えられるように成長し、1年後に達成感を得ることができると思っています。



公募プロジェクト

学生や教員などからの提案により、学生たちが自力で主体的に取り組むプロジェクト。様々な学生たちが出会いながら、学生ならではの視点をもとに社会に貢献できる成果を目指す。

コラボKyoDO

(RM211)

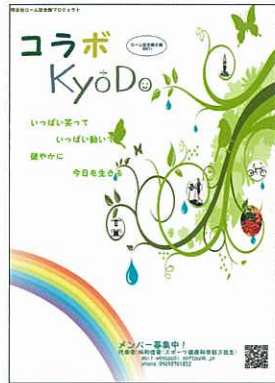
【プロジェクト責任者】

石井好二郎 (同志社大学スポーツ健康科学部教授)

【目標】 イベントの実施およびWebサイト制作を通して「京都市民健康づくりプラン」新プラン策定に伴う、「身体活動」の指針づくりのためのニーズ調査と指針を提供する。

【主な活動】

- ・ Webサイト制作、運営
- ・ 市民へのヒアリング調査
- ・ イベント企画・運営



workshop 3.0

(RM212)

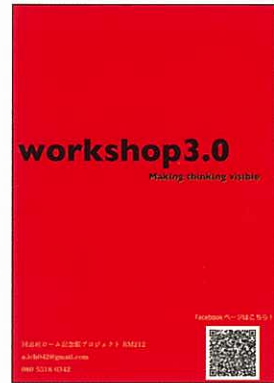
【プロジェクト責任者】

上田信行 (同志社女子大学現代社会学部教授)

【目標】 劇場空間を活用し、「プレゼンテーション」をテーマとした新しい形のワークショップを開発する。

【主な活動】

- ・ Facebookを活用したワークショップ企画
- ・ 劇場空間でのワークショップ実施
- ・ USTREAMでの配信



Research Support

(RM216)

【プロジェクト責任者】

野口範子 (同志社大学生命医科学部教授)

【目標】 医師資格を持たない研究者のための生体試料入手を手助けする、医療研究促進データベース (仮称) の試験モデルを構築する。

【主な活動】

- ・ アンケート調査、インタビュー
- ・ データベース作成
- ・ システム開発



GE-SEN ~ゲーム制作センター~

(RM217)

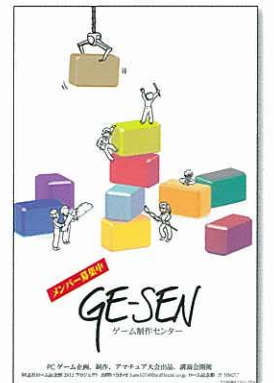
【プロジェクト責任者】

大久保雅史 (同志社大学理工学部教授)

【目標】 PCユーザ向けのゲームを制作し、日本ゲーム大賞アマチュア部門での入賞を目指す。

【主な活動】

- ・ ゲーム開発
- ・ 関連イベントの企画・運営



同志社ものづくり推進プロジェクト

(RM213)

【プロジェクト責任者】

橋本雅文 (同志社大学理工学部教授)

【目標】 レスキューロボットコンテストへの出場や、ものづくり教室等のイベント実施を通して、子どもたちに「ものづくり」の楽しさ、大切さを伝える。

【主な活動】

- ・ レスキューロボット制作
- ・ Webサイト企画・運営
- ・ 子供向けものづくりイベント開催



同志社プロジェクション

(RM215)

【プロジェクト責任者】

鋤柄俊夫 (同志社大学文化情報学部教授)

【目標】 同志社EVEにて、クラーク記念館を投影場所とした3Dプロジェクションマッピングのイベントを実施する。

【主な活動】

- ・ 3Dプロジェクションマッピングの技術習得
- ・ 脚本、絵コンテの制作
- ・ 3D映像制作
- ・ イベント企画・運営



京都歴史暦帳

(RM223)

【プロジェクト責任者】

狩野博幸 (同志社大学文化情報学部教授)

【目標】 カレンダーを切り口とした京都観光のためのWebサイトを制作する。

【主な活動】

- ・ 観光地などでのフィールドワーク
- ・ Webサイト制作
- ・ 観光ツアーイベント企画・運営



参加学生からのメッセージ



同志社ローム記念館プロジェクト
李 智雅
同志社大学 文学部2年

私は昨年度もプロジェクトに参加していましたが、1年間をふりかえってみると、まだやり残したことがあり、そこで知り合った友達や新しいメンバーと再度チャレンジしたいと思ったので、新たなプロジェクトを立ち上げました。

私個人としては、組織をまとめるリーダーシップを身につけること、また、チームとしては、自分たちの技術力の向上とチームワーク力の向上を目標にしています。創作活動が主な活動となるので、メンバーの可能性を掘り起こしてあげられるリーダーになりたいと思っています。



コアプロジェクト

ローム記念館全体の企画・運営を支えるコアプロジェクト。「学生コアスタッフ」体制から改編して2年目、単年度での活動にシフトしつつあるものの、コアプロジェクトの各チームには、受け継いでいきたい大切なものがあります。

舞台計画

(RM221)

同志社ローム記念館が誇るイベントスペース「劇場空間」。ここでのイベント運営は歴代のコアプロジェクトメンバーによって学生コアスタッフ時代からの資料やノウハウ、伝説の数々まで、今も大切に受け継がれている。

【目標】劇場空間等、館内施設におけるオリジナルイベントの企画・運営

【主な活動】

- ・劇場空間等でのイベント企画・運営
- ・プロジェクト全体イベント（報告会等）や同志社ローム記念館プロジェクトが個別に主催するイベントの運営サポート
- ・劇場空間活用事例集、機材操作マニュアル整備



クリエイターバンク

(RM222)

「どうしても「ippo」を途絶えさせたくない！」昨年度活動した「コアパブリック」のメンバーの思いから誕生した新しいチーム。本年度は、プロジェクトとしての実施体制固めをしながら、広報誌制作やWeb活用などを通して、「ippo」の名を守る。

「クリエイターバンク」の名にふさわしいクオリティの高い広報物制作を目指す。

【主な活動】

- ・同志社ローム記念館やプロジェクト活動における広報物制作を担う。



SCoP (Students Cooperation Project)

各プロジェクトの代表メンバーからなり、プロジェクト全体イベントの企画・運営をはじめ、プロジェクト運営全体を考えるチーム。この組織ができたことでプロジェクト間での交流、連携が促進されてきた。

「来年のメンバーが、どんなふう活動していいかわからないという思いをしなくていいように。」初代SCoPメンバーの発案で、名称も見直し、SCoPの定義や基盤となるルールをまとめた「SCoP憲章」を制定。1年以上のプロジェクト経験を持つメンバーで構成され、SCoP活動をリードする「SCoPコア」の組織化も行った。

「ステップアップキャンプ」「同志社京田辺祭」「中間報告会」「最終成果報告会」「同志社ローム記念館大賞発表会」などの企画・運営を行う「実行委員会」には、プロジェクトメンバーであれば誰でも加わることができる。

「プロジェクトを支える」のは自分たち。館内で活動するメンバーにとってのSCoPが、より近い存在として根付きつつある。



同志社ローム記念館プロジェクト2012 ハンドブック



ウェイクアッププログラムでも活用したこのハンドブック。昨年度、卒業を控えたメンバーから「同志社ローム記念館オリジナルの手帳をつくりたい!」という発案があってスタートした企画だ。その後、スケジュール管理の方法が千差万別である実情とメンバーの使い勝手を考慮し、A6版のハンドブックに変更。表紙デザインは発足間もない「クリエイターバンク」のメンバーが担当し、新OPと現役メンバーとのコラボ作品が誕生した。

6月からは、月に一度、各プロジェクトがSCoP総会で前月の活動実績と当月の活動予定を報告しあう場が設けられたが、ここで使用するテンプレートもハンドブックに掲載されているワークシートのアレンジ版。今後もメンバーたちに採られ、オリジナルハンドブックも進化を続けるのではないだろうか。

ウェイクアッププログラム

メンバーのプロジェクト活動への「目覚め」をアシストする「ウェイクアッププログラム」。

本年度は、プロジェクト数、メンバー数とも多いが、こうしたプログラムを通して他のプロジェクトについて知るチャンスともなり、お互いにより刺激となったようだ。

5月10日(木)・11日(金) 適性検査

メンバーがそれぞれ自分自身の社会的強みや職業への興味、考え方のスタイルを認識することで、プロジェクト活動を通してどのような点での成長をめざしていくかを考えるきっかけを提供する。



5月14日(月)・15日(火) ローム記念館活用ガイド

プロジェクトルームなどの施設の使い方をはじめ、プロジェクトを取り巻く環境を理解し、活動に必要な手続きなどを案内するガイダンス。

今回は、どのプロジェクトも成功できるように手助けをしたい、との思いから一部OPと現役のSCoPメンバーが制作した「同志社ローム記念館プロジェクト2012 ハンドブック」をもとに進められた。

このハンドブックには、プロジェクトポリシーやSCoP憲章、館の活用ガイドのほか、プロジェクト活動のヒントとなる、企画書、活動記録などのテンプレートなども紹介されている。

一部はワークシートになっており、このプログラムの中でも、プロジェクトのゴールや、メンバーそれぞれがプロジェクトを通してどのようにになりたいかを書き込み、メンバー間で確認しあうワークを行った。



5月19日(土)・29日(火) CM制作ワークショップ

昨年度も好評だったプログラムで、自分達のプロジェクトをテーマに、チームごとに30秒のCMを制作する。

1日目(5/19)には、クリエイターとしても活躍されている前田剛志氏(同志社女子大学嘱託講師)による映像制作技術、CMの表現手法等のレクチャーを受講し、絵コンテを制作した。これまでまったく映像制作に関わったことのないメンバーもほとんどだが、2日目(5/29)までの10日間でCM制作にチャレンジ。2日目(5/29)の制作発表では個性豊かなCMが発表された。自分たちのプロジェクトが伝えたいことを効果的に盛り込もうとすると30秒では短い、撮影した映像を音声とあわせて動画に編集する作業にとりかかると30秒がとてつもなく長い。プロジェクトの体制づくりと並行して進められた今回のワークショップは、たいへんながらも、新たな経験と学びを提供できたようだ。

このワークショップで制作したCMの完成版は劇場空間で放映されている。



5月21日(月) 会計責任者連絡会

各プロジェクトの活動内容と予算を確認するワークを取り入れながら、プロジェクト活動費の執行手続きや予算管理についてのガイダンスを行った。



5月22日(火) プロジェクトとコミュニケーション

「コミュニケーション」スキル向上に対するメンバーの関心は高い。今回は、同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会委員長で、コミュニケーション工学の研究者でもある大久保雅史教授(同志社大学理工学部)によるレクチャーとワークで、「コミュニケーション」についての理解を深めた。また、最も多用するコミュニケーション手段とも言える「Eメール」のマナーについて、よくあるまちがいの事例を通して学び、活動での実践に備えた。



5月31日(木) 適性検査活用ガイダンス

適性検査の結果報告書の配付とあわせて行う「ウェイクアッププログラム」最終のプログラム。後半はプロジェクト単位でのワークに取り組み、「実行する」ことの大切さを体感、適性検査の結果から見てきた自分の強みを活かしてどうチームに貢献するか、また弱みをどう克服するかを考える機会となった。



今回ご紹介したプログラムの他に、同志社大学が提供している「パソコン利用者講習会」のマルチメディアコースとも連携してスキルアップ向上をサポート。動画編集の「Premiere」や「Illustrator」、「Photoshop」などのプログラムに、のべ65名が参加した。

最終成果報告会

2012年3月3日(土)、1年間のプロジェクト活動の成果を発表する「最終成果報告会」が開催され、各プロジェクトから、1年間の活動の取り組みや成果について7分間のプレゼンテーションによる説明がおこなわれた。

今年度も外部審査員を招き、成果の社会的価値の高さという点からご助言をいただいたほか、ローム株式会社人事部の方や参加企業のご担当者、また、OP (Old-Project Member) など、多くの社会人の方にも参加いただき、熱気あふれる報告会となった。



同志社ローム記念館大賞発表会

これまで、最終成果報告会と大賞発表会は別日程で開催されてきたが、今年はSCoP(スコープ)発案のもと、はじめて報告会と大賞発表会を同日に開催する形式が採り入れられた。報告会終了後の厳正な審査ののち、同日夕刻に開催された「同志社ローム記念館大賞発表会」にて授賞プロジェクトが発表され、授賞式がおこなわれた。審査を待つあいだには、交流会(第1部)として、お楽しみ企画のビンゴゲームが催された。

賞の発表、授賞式をはさんで、軽食を交えながらの交流会(第2部)がおこなわれ、メンバーが互いの健闘を称えあい交流をはかった。また第二部の終盤には、事務局スタッフからのサプライズ企画として、1年間の活動の振り返りとSCoPの活躍をまとめた映像が放映され、次の新しい1年に向けて気持ちを新たにしました。



受賞プロジェクト

同志社ローム記念館大賞 トロフィー・賞状・副賞(賞金10万円・記念品)

大賞

該当なし

同志社ローム記念館大賞 優秀賞 トロフィー・賞状・副賞(賞金5万円・記念品)

優秀賞

ソーシャルメディアスタジオ“ことりんく”
～関西学生USTREAM配信し隊～

公募プロジェクト

【授賞理由】

継続的に取り組むプロジェクトが多い中、1年間の中で、計画的に全員体制で目標達成に向けて取り組むことができました。

対象となるユーザーを絞り込み、そのニーズに応えられるようコンテンツを検討すればさらに充実した内容を発信できた可能性もありますが、社会に向けて独自性ある情報発信を活発に行えた点は高く評価できます。

今回の経験をもとにメンバー各自が今後ますます活躍されることを期待しています。

- プロジェクトリーダー
矢倉和雄(同志社大学文化情報学部)
- プロジェクト責任者
多田実(同志社大学政策学部教授)
- メンバー数 14名



奨励賞

賞状、記念品

ROBO+

公募プロジェクト



- プロジェクトリーダー
松下 晃
(同志社大学理工学部)
- プロジェクト責任者
橋本雅文
(同志社大学理工学部教授)
- メンバー数 16名

【授賞理由】

公募プロジェクトとして、メンバー同士協力しあい、着実にプロジェクト活動を進められました。また、プロジェクトで大切なノウハウをしっかりと継承し、メンバーの大きな成長がみられます。

マスコットロボットは未完成となりましたが、今後ものづくりの楽しさを社会に伝えていくこと、誰にも愛されるロボット作りに期待しています。

奨励賞

賞状、記念品

病院検索おたすけツール
開発プロジェクト

誘致プロジェクト



- プロジェクトリーダー
久原拓也
(同志社大学理工学部)
- プロジェクト責任者
廣安知之
(同志社大学生命医科学部教授)
- メンバー数 12名

【授賞理由】

誘致プロジェクトとして、企業のミッションを理解し、必要な技術を主体的に習得しながら、一定の成果をあげたことは評価できます。

より実用性の高いコンテンツとして発展していくことが期待されます。

外部審査員特別賞 賞状、記念品

ROBO+

公募プロジェクト



- プロジェクトリーダー
松下 晃 (同志社大学理工学部)
- プロジェクト責任者
橋本雅文 (同志社大学理工学部教授)
- メンバー数 16名

【授賞理由】

- 未完成の面もあるが、非常に親しみやすさもあるものであった
- マスコットになれるかはわからないが、ものづくりを形に出来たのが良かった
- プレゼンテーションから、メンバーが楽しくプロジェクトに取り組んでいる様子がかがえ、同志社ローム記念館のプロジェクトとして良い活動であったと推察される。
- また、今後センサを搭載することなどにより、ITメディアテクノロジーへの発展を感じさせた。是非マスコットになれるようなロボットの進化を期待したい

学生相互評価

今年は、学生たちの相互評価による賞として、新たに2つの賞が設けられた。「ベストプレゼンテーション賞」は、報告会でのプレゼンテーションにおいてその表現力が最も素晴らしかったメンバーに、「MVP賞」は、各プロジェクトの活動をとらして本年度最も成長したメンバーに授与された。

ベストプレゼンテーション賞

小羽田 諭 孝 さん (病院検索おたすけツール開発プロジェクト)



MVP賞

- 鹿取大祐 さん (同志社エコプロジェクト～あすみチャンネル～)
- 嫁兼弘修 さん (ゲームソフトの評価とニーズを探る)
- 松下 晃 さん (ROBO+)
- 永田 健人 さん
(ソーシャルメディアスタジオ「ことりく」～関西学生USTREAM配信し隊～)
- 児玉知恵 さん (ワヤック)
- 小羽田 諭 孝 さん (病院検索おたすけツール開発プロジェクト)
- 杉田 達哉 さん
(もっとふりいネット～障がいを持った人たちがつくる製品、ネット販売プロジェクト～)
- 浅井 友紀 さん (舞台計画)
- 坂本 風 さん (コアパブリック)



SCoP (Students Cooperation Project) メンバーレポート



コアプロジェクト「舞台計画」
福森千恵
同志社女子大学 学芸学部3年生

プロジェクト実施体制の変化があり、本年度からはSCoPメンバーの複数プロジェクトによる担当班で連携して企画運営を行った。学生コアスタッフ時代に引き続き、SCoPの担当班メンバーとして参加した2011年度最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会。1日で報告会と大賞発表会をスムーズに運営するためにどうすればいいか、PJメンバーの動きや、進行シナリオ等、様々な点での検討が必要だった。夜遅くまで話し合ったり、事務室に駆け込んで



では「もっとよく考えてきて」と追いつけられたりした。私たち担当班のメンバーは自分のプロジェクトの最終成果報告の準備と並行しながらの作業で多忙を極めた。また、例年難航するのが2009年度より導入された学生相互評価のしくみづくりだ。本年度は4月から交流会の数を増やし、他プロジェクトとの交流を増やすなどの工夫もしたが、やはりお互いに活動状況を評価するのは難しいと判断し、最終成果報告の発表者のプレゼン技術を評価してもらう「ベストプレゼンテーション賞」、各プロジェクト内で一番成長したメンバーを選出する「MVP賞」の2賞となった。本当の学生相互評価ができるような体制を整えるのが今後の課題だ。たいへんだったが、交流会の司会で前に立った際、メンバーのみなさんの「1年間やりきった」という顔が見ることが出来て、とても嬉しく思った。





OP(Old Project-Member)訪問

OP (Old Project-member) の今、を訪ねる本企画。
今回は、OP達が、京田辺キャンパスにやってきてくれたときの模様を中心にお届けします。

●OP総会

2012年4月28日(土) 16:00 ~ 18:00
同志社大学京田辺キャンパス
[Hamac de Paradis Latte]

ここ数年、プロジェクトイベントへのOP参加も定着してきていますが、今回こうして具体的に2012年度の事業計画の中に「OPネットワークの強化」が盛り込まれたのは、2011年度のステップアップキャンプに参加してくれたOPからの提案がきっかけでした。



2011年の年末、「まずは、OPと現役メンバーが顔を合えず場をつくらう!」ということで、本誌前号でもご紹介した港泰秀さんの呼びかけに応じ、この春卒業したメンバーを含めたOP、現役メンバーあわせて10名の「OP総会」幹事が活動を開始。OPと現役メンバーをつなぐネットワークづくりとあわせて準備を進めました。



「OP総会」当日は、OP27名、現役のプロジェクトメンバー 29名の約60名が集まる盛況ぶり。OPの近況紹介やチーム対抗でローム記念館にまつわるクイズを出題しあうクイズ大会など、楽しく有意義なひとときを過ごしました。

また、「OPネットワーク」にも「OPEN (Old Project-member Enrollment Network)」という名称がつけられ、今後OPと現役メンバーがWeb上でさまざまな情報交換ができる場づくりにも取り組む予定です。

●大人のippo

学生の視点で学生のためのプロジェクト情報を提供している「ippo (イッポ)」。第1期プロジェクトからコアプロジェクトによって代々受け継がれ、2012年度のメンバー募集号で25号を数えます。

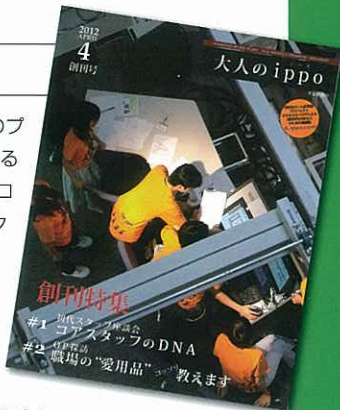
この「ippo」に対抗して、この春、館内のラックに登場したのが「大人のippo (創刊号)」。



「あの頃は楽しかった。たいへんなこともあるけれど、せつかくやるなら、プロジェクトも楽しんでなんぼ!」初代の学生コアスタッフとして活動したOP長谷芳樹さんと事務室スタッフとのそんな立ち話からスタートした企画です。楽しかった自分達のプロジェクト時代のようにとともに、社会人、大人になった今でも楽しんで広報誌がつけられることを伝えられれば、と有志を募りました。

印刷などにかかる費用もOP有志の寄付でまかない、デザイン、紙も「大人」らしさにこだわりました。現役の学生メンバーはもちろん、OPも、ローム記念館プロジェクトに興味を持っていただいた方も、ぜひ手に取ってご一読いただきたい冊子です。

第2号発行に向けて、OPからの寄付も継続受付中です。「大人のippo」スタッフブログ (<http://a-ippo.com/>)へアクセスを。



Event Report

イベント報告

2012年1月~
2012年6月

●イベント

舞台計画TV ~新春! 今年の抱負をまだ覚えているかなSP~
館内を正月風に装飾し、様々な新春イベントが開催された。

PAN DE MIKUJI
1月16日(月)~18日(水)
館内にあるカフェカーリー「JOHERMI」の試験応援フェアとコラボレーションし、対象商品を購入した方におみくじを配付

新年Live
1月16日(月)
出演:同志社雅楽会

餅つき大会
1月19日(木)
ローム記念館の軒下で餅つきが行われ、つきたての餅が参加者にふるまわれた。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト「舞台計画」



セメスター留学(ハワイ) 成果報告会

1月20日(金)
セメスタープログラムで約4ヶ月ハワイ大学に留学した学生による、成果報告会
主催:言語文化教育研究センター

同志社女子大学 授業「京都の文化C」

1月24日(火)
河村 晴道先生による能(仕舞)の実演がおこなわれた。
主催:同志社女子大学 教務課

公開シンポジウム

「スマートライフからスマートコミュニティへ」
2月13日(月)
主催:京都産業工コ推進機構
共催:京田辺市、同志社大学

同志社女子大学 情報メディア学科進級制作展

「BE FREE」
2月18日(土)~23日(木)
情報メディア学科3年次生のなかで、主にメディアデザインを学んできた学生によるデザイン・アート展。
主催:同志社女子大学 学芸学部

2011年度同志社ローム記念館プロジェクト最終成果報告会

3月3日(土)
館内で活動する9プロジェクトより、1年間の活動報告がおこなわれた。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

2012年度同志社ローム記念館プロジェクト プロジェクト説明会

4月3日(火)~6日(金)
新しく発足した12プロジェクトがメンバー募集のために館内にPJブースを設置し、個別説明を行った。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

交響楽団 新歓アンサンブルコンサート

4月10日(火)
主催:同志社交響楽団

春の交通安全キャンペーン「自転車安全に!交通安全をなくそう」

4月12日(木)
主催:田辺警察署

グリークラブ ミニライブ

4月18日(水)
主催:同志社グリークラブ

心粋 新歓演舞

4月18日(水)
主催:京都よさこい連 心粋



2012年度同志社ローム記念館プロジェクト

スタートアップ報告会・交流会
4月19日(月)
全プロジェクトから1年間の活動の目標や活動内容についてのプレゼンテーションがおこなわれた。また、報告会後には「Workshop3.0」によるワークショップでチームビルディングについて考える場を提供、その後の交流会も盛況だった。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会



邦楽部 新歓コンサート

4月20日(金)
主催:同志社大学 邦楽部



2012年度 同志社ローム記念館プロジェクト交流会

4月24日(火)
メンバーと、プロジェクトに興味のある方が軽食をまじえ交流をおこなった。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

京田辺水曜チャペルアワー 逝去者追悼礼拝

4月25日(水)
主催:同志社大学キリスト教文化センター

Workshop3.0 「Café3.0」~プレゼントをつくるCafé~

4月26日(木)
Caféをイメージしたワークショップを実施。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト「Workshop3.0」

5月29日開催の講演会(ゲスト 落語家林屋木久扇) 告知イベント

5月8日(火)・15日(火)
主催:同志社大学 学生保健部会

Workshop3.0 「Opening」~ステージから生まれる学び~

5月24日(木)
Workshop3.0のopeningとして、ダンスパフォーマンスを実施。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト「Workshop3.0」



Doshisha Spirit Week 2012春

5月28日(月)
主催:同志社大学キリスト教文化センター

同志社生協学生委員会Presents/パフェコンテスト イントロダクション

5月29日(火)
主催:同志社生協学生委員会

Workshop3.0 「Presentation」~自分是可以変わる~

5月30日(水)
Workshop3.0のメンバーが、テーマにそったプレゼンテーションを行った。
主催:同志社ローム記念館プロジェクト「Workshop3.0」

Workshop3.0 「Presentation3.0」~今、頑張っていること~

6月14日(木)
主催:同志社ローム記念館プロジェクト「Workshop3.0」

ロンドンオリンピック代表社行会

6月20日(水)
水泳女子800mフリーリレー代表高野綾さん(スポーツ健康科学部1年次生)の社行会
主催:同志社大学、同志社大学体育会

プロジェクションマッピングとはなにか?

6月21日(木)、22日(金)、25日(月)
主催:同志社ローム記念館プロジェクト「同志社プロジェクション」

●展示

フォーミュラカー展示

4月1日(日)~
主催:同志社大学 機械研究会

Present Project

5月31日(木)~6月2日(土)
主催:Artist連天 (Ren)

写真同好会 新2回生展

4月9日(月)~13日(金)
主催:同志社大学 写真同好会

新人展

6月11日(月)~15日(金)
主催:同志社大学 写真同好会

フォトクラブ ローム展

5月22日(火)~25日(金)
主催:同志社大学 フォトクラブ

みちのくphoto caravan ~東北のキセキ~

6月25日(月)~29日(金)
全国の大学を回って開催している、東日本大震災の写真展。25日にはクロストークイベントも開催。
主催:みちのくcaravan

